



## 子ども家庭相談より

子ども虐待の背景には「社会的な孤立(親族間での孤立)」というひとつの要因があります。これは、地域や、家族・親族間でのつながりが希薄となり、その家庭の悩みや子ども達の声に気付いてあげられる人がいないという事です。

また、最近では「社会的な孤立」を積極的に選択する人も増えています。その理由は、他人との関わりを面倒・苦手と思う人が増えた事や、地域など全体への奉仕心の希薄化、個人主義の蔓延など様々ですが、子ども虐待を無くすために私たちに出来る事のひとつに、この「社会的な孤立」を減らす事があります。

「面倒で関わりたくない」「虐待かどうかわからないし…」と思う気持ちはおかしいな?と感じる事

## 地域で子育て支援 ⑨

## 現在の子育て家庭 ⑨

### 子育てと私(1)

安曇川町在住 40歳代女性  
私は今まで仕事をしながら、子育てをして来ました。子どもとふれあう時間が短い私の場合、どのようにして子どもと上手に関係を築く事ができるのか常々考えてきました。

振り返れば、我が子を宝物の様に大切に育てながら「過保護」と思われたくらいに育ててきたかもしれせん。なぜならば、毎日自

分の子どもに関わっている時間が短いと感じていた事もあり、埋め合わせとして、充分スキップの時間を持つ様にしました。

しかし、時には子どもに物を与え納得させていた時もありました。今思えば子どもの話をしっかり聞き、ゆったり過ごす時間を大切にしておけば良かったと反省しています。

子どもが中学生、高校生の頃はよく成績を気にしていましたが、それは、子ども

もにとって受身の姿であったと思っています。子どもには、好きなこと、夢中になれる事を充分させる事が必要ではないでしょうか。

今、社会問題として、子どもの暴力やいじめなど様々な問題が多い中、家庭においては、弱音をかける場、また「ありがと」「おねがい」「ごめんね」といえる関係づくりが大切です。私はこれから先も、この関係を家庭において継続して行こうと考えています。

### 親への支援(1)

現在育児中で、初めてのお子さんの場合は「子育てについて」悩むことが多いのではないのでしょうか。

随分前の話ですが、あるお母さんが「初めてオムツを換えようとしたとき、赤ちゃんのおしっこが青くなかったので驚いて病院へ連れて行った。」と言う事を聞いたことがあります。これは極端な例かもしれませんが、このお母さんは紙おむつのテレビコマーシャルを見て「赤ちゃんのおしっこは青い」と子どもを産むまで思っていたそうです。

それくらい、初めてのことは普段考えもしないことで悩んだり、驚いたりするんですね。

しかし、みんなそうなのだと思えます。慣れてしまえば当たり前なことでも、最初は解らない事ばかりで

す。特に大切な子どもの成長を考えれば誰でも慎重に考えたり、悩んだりするものですから、周りの人に遠慮なく聞くことをお勧めします。子育ての先輩がアドバイスをしてくれると思いますよ。「専門家に聞かないと心配」と思われる方は健診時に保健師などに相談をしたり、近くの子育て支援センターに電話をすると答えられますよ。

## ストップ!! 子ども虐待 ⑨

見張りはではなく、見守りの心でその電話で、救われるんです

があれば、まずお電話をください。

護する場合(児童相談所)等もあります。

### ◆通告(連絡)の法的義務

児童虐待防止法(第6条)では、虐待を受けたと思われる子どもを発見した者は誰でも児童相談所(滋賀県中央子ども家庭相談センター)や、福祉事務所(高島市役所)へ通告(連絡)しなければならぬと定めています。

### ◆見張りではなく、見守りの心で

子ども虐待の多くの事例では、子どもだけでなく親も抱えきれない悩みを持っている事がほとんどです。そんな時、周りには私達は「見張る」のではなく、子どもの安全と家族が良い形で暮らしていけるよう「見守る」ことを大事にしています。

### ◆通告(連絡)をしたら、どうなるの?

まず事実関係を調べるための調査を行います。その後、その家庭に必要な支援について関係機関や職員が集まり相談します。場合によっては、ご家族と直接話をして「今、何に困っているか」を聞いたり、子どもの命が危険にさらされている場合、緊急一時的に子どもを保

### ●通告先

- 子ども家庭相談課 ☎(25)8517
- 市役所代表 ☎(25)8000
- または、市内各保健センター
- または、滋賀県中央子ども家庭相談センター ☎077(562)1121

## ●安曇学童クラブ コロボックル

- 所在地：安曇川町田中630番地1 (高島市勤労青少年ホーム隣接)
- 連絡先：☎(32)4801

こんにちは、私たちの学童クラブは、お父さんやお母さんが、「子どもが小学校へ行ってからも働き続けたい、でも、留守の家に子どもを置いて寂しい思いや、危ない目にあわせたくない」という願いから生まれた市内で唯一の「保護者会が運営する」学童クラブです。

ここでは毎日、1年生から5年生までの異年齢集団が自分たちで決めたルールで遊んだり、基地遊びやごっこ遊びをしたり、宿題をしたり、おやつを食べたりしています。

どんな様子なのか興味のある方は、親子でお気軽にお越しくださいね。



## 応援メッセージ

## ●今津学童保育所

- 所在地：今津町今津1966番地 (高島市役所 今津支所分館内)
- 連絡先：☎(22)1445

「おかえり〜」という指導員の言葉に「ただいま〜(^^)」と学校から子どもたちが、元気に家と同じように帰ってきます。当所には毎日70人程の児童が通ってきています。家族と呼ぶには大所帯過ぎますが、待っている指導員は家族を迎え入れるように心がけています。

宿題を済ませ、おやつを食べた後は、集団遊び(ボール遊び・ごっこ遊び)や一輪車・竹馬・伝承遊びをして過ごしています。

今津学童保育所では「みんなは一人のために、一人はみんなのために」を合言葉に元気で仲良く活動しています。



## ●朽木地域子育て支援センター

### ●朽木地域子育て支援センター

- 所在地：高島市朽木市場1101番地2
- 連絡先：☎(38)2070

こんにちは、朽木地域子育て支援センターです。支援室は周辺を山々に囲まれ、静かで四季折々の自然が楽しめる朽木保育園内にあり、家庭的な温もりのある環境設定を心がけ、発達年齢に合わせた玩具や布で作った手づくりおもちゃなどを揃えています。月曜日から金曜日の間、毎日開いている「ワクワクデー」と年齢ごとの広場(にこちゃん、いちごちゃん、まるちゃん、ぴよちゃん)があり、親子が向き合い和やかな雰囲気の中で遊んでいます。

う散歩を楽しんだり、祖父母デーやファミリーデー(土曜日に支援室を開放)などを行い、祖父母やお父さんたちにも、子育てに協力してもらえよう参加を働きかけています。

また、朽木保育園では3歳以上児は縦割りによるホームを取り入れ、異年齢の子どもたちがそれぞれのホームでお互いを思いやり、助け合いながら生活しています。家庭的な雰囲気の中で一人ひとりの育ちを大切に考え、自分らしさを出し主体的に行動する力が身につくよう保育を進めています。



手作りおもちゃ



祖父母デー

◆このコーナーに関するお問い合わせは ・子ども家庭総務課 ☎(25)8136 ・子ども家庭相談課 ☎(25)8517

### 子育て支援センターへの問い合わせ

- マキノ地域(マキノ児童館内) ☎27-8187
- 安曇川地域(古賀保育園内) ☎33-1540
- 今津地域(今津保育園内) ☎22-4833
- 高島地域(高島保育園内) ☎36-0660
- 朽木地域(朽木保育園内) ☎38-2070
- 新旭地域(大師山さくら園内) ☎25-8439